

第17回

「とよなが発/子ども・いのち」

インクルーシブ教育を考える シンポジウム 2019

豊中では40年近くにわたり、「障害」のある子どもない子ども地域の学校で、同じクラスでともに生活し、ともに学び、ともに育つことを大切にした教育を進めてきました。

2014年に「障害者権利条約」が批准され、2016年には「障害者差別解消法」が施行されるなど、「共生社会」の実現にむけた具体なとりくみがさらに求められています。豊中市においても「障害」を理由とする差別の解消に向けたとりくみが継続されています。改めて「ともに生き、ともに学び、ともに育つ」教育の意義をふまえ、「共生社会」の実現と地域の学校で「ともに学ぶ」ことの大切さを一緒に考えていきたいと思えます。

入場無料

※会場には駐車場がありませんので
お車でのご来場はご遠慮ください。

とき

2月9日 土

午後1時30分～4時30分 <受付:午後1時～>

ところ

豊中市立 大池小学校 体育館

(豊中市本町1-7-12 阪急宝塚線「豊中駅」下車
東へ約100m)

インクルーシブ教育とは

「障害」のあるなしで学ぶ場を分けるのではなく、すべての子どもが普通学級で学び、その子の必要に応じた支援を行う教育。

第一部 講演

「ともに生き、ともに学び、ともに育つ」教育と地域共生社会
～ インクルーシブ教育の新たな使命を考える ～

講師 落合 俊郎 さん (大和大学 教育学部 教授)

第二部 パネルディスカッション

コーディネーター 遠藤 哲也さん(毎日新聞社「点字毎日」編集長)

パネリスト 落合 俊郎さん(大和大学 教育学部 教授) 青木 康二さん(保護者/親の会)

上田 哲郎さん(豊中市障害者自立センター 管理者) 金澤 瑞英さん(豊中市立豊島西小学校 教員)

主催：豊中市教職員組合、毎日新聞社

後援：豊中市、豊中市教育委員会、豊中市PTA 連合協議会、豊中市人権教育推進委員協議会、
豊中市社会福祉協議会、豊中市身体不自由児者父母の会、豊中市手をつなぐ育成会、
ピープルウォーク(自閉症・発達障がい者等支援の会)、「障害」児・者の生活と進路を考える会、
国障年豊中市民会議、障害者問題資料センターりぼん社、インクルーシブ(共生)教育研究所

【問い合わせ】 豊中市教職員組合 TEL 06-6863-1600 FAX 06-6863-2721
メールアドレス ttu-toyokyoso@snow.ocn.ne.jp